

## 瀋陽駐在員事務所

### 「双11」商戦

2009年ネット通販大手の「アリババ」が11月11日に「独身の日」としてセールイベントを始めて以後、今やこの日は「双11」として認知され、クリスマスやバレンタインと並ぶ一大商戦の日となりました。2009年当時のネット通販は社会消費財小売総額全体に占める割合は2%以下、ユーザー数も1億人を突破したばかりでしたが、今年の「双11」商戦、アリババは同日の売上高が1,207億元（約1兆9千億円）に達したと発表し、昨年の912億元を上回り、過去最高を更新しました。



「双11」に代表されるインターネット取引は、ショッピングの習慣や方式に留まらず、社会の消費構造にも変化を与えています。この影響を真っ先に受けたのは、百貨店、総合スーパー、商業施設などの大型小売業で、中国百貨商業協会の統計によると2012年からはじまった中国百貨店業界の廃業の波は2015年に過去最大となり、2016年4月までに中国各地で廃業した中国独資・外資系百貨店は180軒にのぼりますが、今年の「双11」、伝統的な家電小売大手の「国美」はネット取引との相乗効果で売上を前年比145%、「蘇寧」も95%伸ばしています。先日、三越伊勢丹ホールディングスも中国のEC(国際ネット取引)サイトへの参入を表明しましたが、日本企業にとってどのようなビジネスチャンスが存在するのか注目していきたいと思います。

張 璐

## ユジノサハリンスク駐在員事務所

### 【歴史的チャンス～日露首脳会談】

12月15日、プーチン大統領が訪日し、山口県で日露首脳会談が行われる予定です。同会談に向け平和条約交渉を含む政治分野や経済分野などで準備を進めていくこととなっており、経済分野では8項目の協力プラン(注)について具体案が検討されています。



ロシアでは、2016年5月6日のソチでの日露首脳会談を皮切りとして、二国間関係の最も重要な項目である平和条約、経済協力に関する積極的な協力が期待されています。その後、9月のウラジオストクでの東方経済フォーラム、11月のペルーでのAPECサミットと、今年3度の日露首脳会談が行われています。

ロシア連邦マトヴィエンコ上院議長が11月上旬に訪日し「現在ロシアと日本は交流史における日露協力の新たなページを開く歴史的なチャンスを手に入れている」と強調しました。安倍首相のウラジオストクでのスピーチには私たちロシア人の多くも共感しています。

両国間の連携をさらに深め、共に日露の新たな時代を切り開きましょう！

(注)8項目の協力プラン

- (1)健康寿命の伸長、(2)快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り、(3)中小企業交流・協力の抜本的拡大、(4)エネルギー、(5)ロシアの産業多様化・生産性向上、(6)極東の産業振興・輸出基地化、(7)先端技術協力、(8)人的交流の抜本的拡大

シュートフ・アレクサンドル  
リトビシコ・アリーナ

## ウラジオストク駐在員事務所

### 第2回ジャパンフェスティバル in ウラジオストクについて

11月19日、ウラジオストクで第2回ジャパンフェスティバルが開催されました。このイベントは、鉄道員文化館という複合施設で開催されましたが、地元の若者を中心に来場者が多く、様々なイベントで会場が盛り上がりました。冒頭、在ウラジオストク日本国総領事館の笠井総領事が挨拶し、日露文化交流の重要性を訴えました。その後、日本人監督が制作した映画数本が上映された他、日本料理や折り紙、着物、書道の講習会も行われました。



しかし、最大の注目を集めたのはコスプレショーです。実は、コスプレそのものは、ウラジオストクだけではなく、ロシア全国で20年以上前からとても流行っており、コスプレをきっかけに日本語を学び始めるロシア人が相当にいるほどの熱狂ぶりを見せています。ウラジオストクは、地理的に日本に近く、留学中の日本人の若者との交流を通じて今まで見たこともなかった漫画やアニメの存在を知る機会も多く、地元の若者は、色々な意味で日本との文化交流のチャンスに恵まれています。これは、今後両国間の貿易や経済交流の発展だけではなく、日露関係全体の強化にもつながり、未来の日露関係の発展を担う世代でもある若者への期待が大きいです。

イワン・モズゴヴォイ

## 北陸銀行バンコク駐在員事務所

### 黒のカオマンガイ！？

皆さんは「ピンクのカオマンガイ」というタイで有名な飲食店をご存知でしょうか。カオマンガイとは茹で鶏と、その茹で汁で調理した米飯を共に皿へ盛り付けた東南アジア料理を指しますが、「ピンクのカオマンガイ」とはその店の店員がピンクのポロシャツをお揃いで着ている事から、その店を指す通称となったものです（店の正式名称は「ラーン・ガイトーン・プラトゥーナム」といいます）。



Before  
鮮やかなピンクシャツ

実はこのお店、10月13日にタイのプミポン国王の崩御に伴い、哀悼の意を示すため、一時的にユニフォームがピンクから黒になっています。この店と同様にカオマンガイを提供する飲食店は付近に多く、普段観光客はピンクのユニフォームを目印にこの店を探しますが、事情を知らない観光客は辺りをうろろう。行列を目印に何とかこの店を見つけていました。



After  
哀悼の黒シャツ

プミポン国王の崩御を受け、大半のタイの市民は黒い服を着用し喪に服しています。一方でプラユット首相は経済活動は平常通り継続する事を国民に要請した結果、店舗が軒並み閉鎖される等の大きな停滞は見られず、バンコクは相変わらず観光客で賑わっています。

プミポン国王に哀悼の意を示す一方で経済活動は平常通り行う、そのバランスの結果が「黒のカオマンガイ」だと考えさせられました。

吉田 雄司

## 日中経済協会 北京事務所 札幌経済交流室

## 中国の独身者にまつわるあれこれ

11月11日は1が4つ並ぶため、中国で「独身の日」とされています。それに伴い「独身」が社会で大きな話題となり、マスコミ各社が様々な報道をしていますので、その一部をご紹介します。

11.11

身長 163 センチの女性が最も人気

中国では高身長の女性が好まれますが、男性にも同じ傾向がみられます。独身女性に最も好まれる男性の身長は178センチです。また、相手の年齢に関しては、独身男性の8割は年下の女性を好み、独身女性の9割は「絶対に年上」と答えています。

外見を重要視しているのは男性ではなく女性

結婚相手の容姿が「とても大切」と答えた独身女性は7割近くに達し、男性の身長や体格に高い要求がみられます。一方、女性の容姿や身長、体格などを重要視している男性は4割にも達していません。

男性の経済力に対する要求は高い

独身女性の8割以上が、結婚相手に求める最低ラインの月収を5,000元(約8万円)としています。そのうち6割強が月収5,000元～10,000元(約16万円)、3割弱が10,000元以上としています。一方、独身男性は女性の収入に対する要求が低く、8割が5,000元以下でも良く、特に要求はないとしています。

小笠原 宅麻

## 北海道 ASEAN 事務所(シンガポール)

## 『シンガポールとの国交樹立 50 周年 北海道とシンガポールとの関係』

先月末、日本とシンガポールの国交樹立 50 年を記念した祭典『SJ50 まつり』が開催されました。ステージによるパフォーマンスでは、日本のポップカルチャー・伝統芸能等が披露された他、地方自治体、一般企業などがブースを出展し、各地産品の物販・展示を行いました。来場者数は2日間で7～10万人とされており、多くのシンガポール人に対し日本の魅力を伝えられた場となりました。



北海道ブースに  
乳製品を求めて並ぶ様子

北海道ブースでは、チーズケーキ、ソフトクリームの販売と北海道牛乳の試飲

を行いました。終始北海道の乳製品を求める地元シンガポール人が行列を作っていた所を見ると、北海道の食に対する人気非常高い事を改めて感じます。

北海道とシンガポールの関係については、10月にシンガポール航空100%子会社であるLCC「スクート」が、シンガポールと新千歳空港を結ぶ便を新規就航しました。この飛行機は『人』だけではなく『物』も輸送する事が可能で、低コストによる貨物輸送も期待されています。

北海道は、道産食品輸出1,000億円突破、訪日外国人来道者数を300万人までに増加させる(100万人増)事を目標としています。シンガポール人にとって北海道は既に人気のある地域ですが、今回のスクート就航を機に、今後益々道産食品輸出拡大、観光客増加が期待されています。日本との国交樹立50周年の節目は、北海道にとっても節目の年となりそうです。

本間 俊也